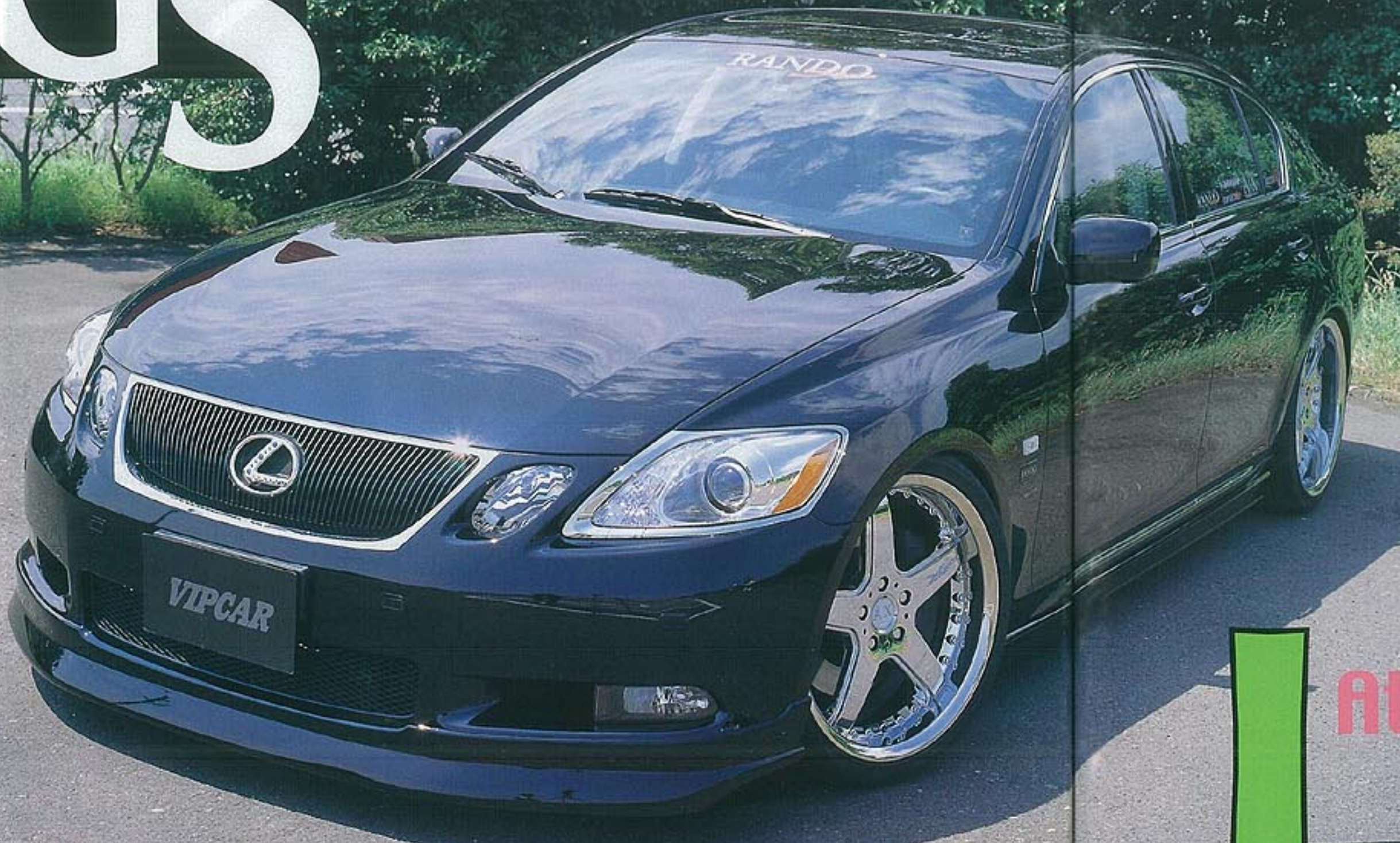


GS

「GS」カスタムの新提案を目指し ジャンルを越えて立ち上がった 合同プロジェクトがここに完結!



エアロテックジャパン
エアロテックジャパン
車検手配・室内パーツ提出
イレブンインターナショナル
ナショナル
ホイール・懸架
レイズ
マフラー・足まわり提出
タナベ
タイヤ懸架
ダンロップ

RANDO Style

●エアロテックジャパン
TEL072・838・7744
http://www.aero-tech.co.jp



↑エンジンルームに、レクサス専用「ジャム」ファンオフの埋め込みが可能。今後製品化する予定も。

去る8月5日(金)~7日(日)、東京ビックサイトにて開催された「オートギャラリー東京2005(P.139から紹介)」で、衝撃的な一台のデモカーが展示されていた。ドレスアップパーツメーカー「エアロテックジャパン」ブースに、まだ発売前のXSが、しかもドレスアップを施した状態で出展されていたのである!

本誌が書店に並ぶ9月1日は、高級車好きの期待を一身に受けたレクサスブランドが満ちて間もない頃。そのタイミングより早くカスタマイズされたGSにお目にかかれるとは…。これはもう詳細を探らずにはいられない!

「レクサス第一弾のGSに対して、メーカーとして何が出来るのか。そう考えたときに、時代のフラッグシップを走っていくうえでの話題性を作っていくこと。コラボレーションという形で各社に企画を持ちかけ、みんながかなり乗り気になってくれたので」とは、エアロテックジャパンの吉川さんの話。

プロジェクトに参加した、各ジャンルのエキスパート達。経験と情熱を注ぎ込み、製作に当たった新製品の数々が、GSにプラスアルファのプレミアム感を加えていく。

「3台を使って、全てのメーカーが2ヶ月で仕上げました。パーツにしてもホイールのマッチングにしても、どこも手掛けているいふんデータが無いモノばかり。0からのスタートだったので大変でした」。「オートギャラリー東京2005」という大舞台を目標に、成し遂げた合同プロジェクト。今後のレクサスカスタマイズにおける一つの指針を提示してくれたことで、レクサスに注目する高級車好きの僕らとしては、今後のVIPカーに夢と希望を抱いてしまう!

Attention!! New Styling

LEXUS

クルマ業界を震撼させる、今年一番のニュースと言っても過言ではない「LEXUS」ブランドが、本誌発売の2日前である8月30日に、いよいよ姿を現した! 今までより、一歩上のプレミアム感を提示するトヨタの高級車プロジェクトは、VIPカーの世界でも多大なる影響を与えるのは必至!! 最もホットで、今後の展開が読めないレクサスのドレスアップだからこそ、新コーナー「アテンション!! ニュースタイリング・レクサス」にて追い続けていきたい——!!

A/X X503
●レイズ
TEL06・6747・1103
http://www.rays.wheels.co.jp

PRICE LIST (税込み)

- RANDO Style
フロントハーフスポイラー 5万9000円
- サイドステップ 5万5850円
- リアハーフスポイラー 5万9000円
- 以上3点セット 16万6950円
- 1ペルリヤウイング 4万2000円
- ランドリューフラグジマフラー 近口直場

●Clazio Steering
スタンダード 4万9800円

●Clazio R 5万9800円

●Clazio R 3万9800円

●MEDALION EXE 価格未定

●SUSTEC PRO AIRCOBRA 価格未定

●SP SPORT MAXX オープン価格

●A/X X505 for Japanese Car
8.0J-10.0J-19 7万3500円~7万7700円
※18インチは9月発売予定

ホイール「A/X」シリーズの最新作が、スポーティさとエレガントさをコンセプトに採えつつ、スタンダードな5本スポークを採用した「X503」だ。一段からなるスポークや面によって変わる色使い、ピアスポルト周辺などといった細部に渡るこだわりのディテールが、ホイール全体に様々な表情を生み出す。色はダイヤモンドカット・シャイニングシルバー・トリプルクロームブレイテッドを用意。

SP SPORT MAXX
●ダンロップ TEL0120・39・2788
http://tyre.dunlop.co.jp/

ダンロップの新しいフラッグシップとなったのが「SPスポーツマックス」。ハイパワー化、高重量化が進む世界のプレミアムカーに向け、ドイツとの共同開発によって生まれたタイヤだ。特徴は「世界方向性パターン」を採用した点。センター部からショルダー部へとトレッド全体の剛性を徐々に高め、接地圧分布を適正化。さらに、トレッド部を10個のRで滑らかにつなぐ「MRT(マルチ・ラジアル・トレッド)プロファイル」で接地面積を広げた結果、直進性と旋回性が向上する。ウェット性能もアップし、フラッグシップたる能力を存分に発揮する。

MEDALION EXE SUSTEC PRO AIRCOBRA
●タナベ TEL072・728・6700
http://www.rd-tanabe.com/

マフラー「メタリオンエグゼ」は、GSの耐用性を損なわない90dB以下のサウンド実現に努めた一品。材質は耐久性と軽量化を両立するSUS304のオールステンレス製。落ち着いた出口形状のオーバルタイプだ。

一方「サステックプロエアコブラ」は、車高調とエアサスの良い部分を融合させた足まわり。低さと実用性を兼ね備える。さらに、オートレベルリング機能、電磁弁・リモコン・デジタルメーター・アルミタンクが標準装備。

↑短時間で車高の上げ下げが可能だから、状況に応じたセッティングで実用性がアップ!

Clazio Steering/Clazio R
●イレブンインターナショナル
TEL072・230・8000
http://www.111.co.jp

↑ステアリング操縦時に手にフィットし、スポーツフィードバックが味わえる「ガンクリップ」タイプ

↑純正らしさを残しつつ、ウッドを大きく見せて高級感アップが図れる「スタンダード」タイプ

まず「クラッツィオステアリング」から。一番に嬉しいのが、下取り無しの新品ステアリングであること。交換時に不安なエアバックやスイッチなども、機能を損なわずに使えるから安心。その上で、8コート高品位クリア塗装やウッドの質感で、高級感アップが図れる。タイプは、ノーマルデザインをベースにした「スタンダード」と、操縦喜びを深めてくれるコブが付いた「ガンクリップ」の二種類を設定。次はシートカバー「クラッツィオR」。縦ギョザーやダブルステッチラインでデザイン性を持たせ、なおかつ2重構造のクッションを採用するなど座り心地の良さも向上。6ヶ月間の保証サービスが付くのも嬉しい。カラーはブラック・グレイ・ベージュを設定し、オーナーの個性に合わせたインテリアが仕上げられる。

↑フィッティング感の向上と純正に馴染むシートカバー。ロゴは生地の色に合わせた刺繍となる